

基山町

# 議会だより

きやま 検索

平成28年 第2回定例会

6月議会

No.58



2、3ページ

**【特集】** 基山の食をみんなで考えよう！

農業・食べ物事情

(表紙)

基山ブランドの1つ、  
アスパラの選別作業の風景

平成28年7月31日発行



# 特集

## 基山の食を みんな考えてみよう！

### 農業・食べ物事情

日本の食糧事情、そして基山町の農業には課題が山積んでいます。特に子どもを育てているお母さん達は何にこだわって「食べ物」というものを考えているのでしょうか。

「うまい＝高い」「まずい＝安い」というものでもありませんし、そこに「安心・安全」というものがついてきません。私たちの町は農業依存の町ではありませんが、恵まれた自然と農業が出来る環境にあります。

ただ、現実には時代に流されてその素晴らしさを忘れてつわっています。それを気づかせてくれる人が「〇〇にこだわっています」という農業関係者であり、消費者である基山町民の皆さんです。

経営面からは、行政と一体となって法人化・組織の集約等について考えていかなければなりません。今回は基山の食について、生産者、消費者、小売業者、家庭菜園主にお話を伺いました。



基山には米やアスパラ以外に色んな特産品があります。

- ・肥育牛・お茶・柿
- ・椎茸・柑橘類・梨
- ・ハチミツ・ぶどう
- ・イチゴ・卵・山菜
- ・サカキ・野菜各種他

## 私のこだわり！ 皆さんに聞きました。

### 消費者のこだわり

- ・基山の農家で作ってあればそれを選びます。  
(12区 男性 30歳代 卸・小売業)
- ・産地・新鮮にこだわります。(安全)  
(14区 女性 60歳代 主婦)
- ・野菜だけでなく肉・果物も出来るだけ国産を食べる。子供のため。  
(9区 女性 30歳代 主婦)

### 家庭菜園主のこだわり

- ・貸農園を継続したい。自分で計画し種子から育てることを大事にしている。菜園で友達が増えるのは嬉しい限り。  
(12区 男性 70歳代 無職)

### 生産者のこだわり

- ・田畑を荒らさないで米・野菜を作り続けること。  
(7区 女性 50歳代 農家)
- ・値が高くても安全でおいしいものを提供すること。  
(1区 男性 60歳代 農家)
- ・完全無農薬で農作物をつくること。  
(3区 男性 60歳代 退職後に農業に専念)
- ・環境に配慮した、安心・安全な農産物の生産。  
(6区 男性 30歳代 露地野菜生産販売)
- ・良いものを自分で作って自分で販売すること。  
(2区 男性 70歳代 米・野菜栽培農家)

### 町民の皆さんが「基山産」にこだわってくれる朝市



▲基山町青空市 (JA基山支所)



▲けやき台朝市

基山町には農業という素晴らしい産業があります。農業関係者の皆さんが課題としてあげるのは、後継者、同じ思いを持った仲間が少なくなっていることです。今なら生産者の皆さんの経験・知識・技術を次世代に引き継げます。消費者の皆さんはもちろんのこと、農業従事者がこだわるのは食の安全と安心です。色んな付加価値をつけて基山ブランドをアピールしましょう。基山町議会も真剣に取り組めます。

# 農業の課題を基山町全体で取組もう！

## 農業の課題は？ 解決策は何だ！

- ・後継者がいない、あと何年農業が出来るか不安。  
(7区 男性 60歳代 農業)
- ・自分独りでなく地域みんなで取組むこと。  
(4区 男性 50歳代 農業)
- ・野菜の栽培方法で解らないことがある。菜園教室を開いて。  
(15区 男性 60歳代 家庭菜園主)

## 基山町は取組んでいます。

- ・基山の農業関係団体の課題、要望を集約しています。
  - ・小学校では田植え、稲刈り、茶摘みをしています。
  - ・まちづくり基金事業は自らやる人を応援します。
  - ・憩の家、基山町保健センターで健康に配慮した料理教室を開催しています。
  - ・基山町産業振興協議会では基山の農業の課題に真剣に取り組んでいます。
- 町議会は危機感とこだわりをもって行政をチェックし、皆さんの意見要望をお聞きします。

## 基山町に望むこと！

- ・基山の地の利を生かせ、民間の活力を活かせ。朝市のみでは力不足！  
(12区 男性 70歳代 年金生活者)
- ・攻めの農業の話ばかりするが、守ってなんぼ！土台を作り、ふるさとを守ることに、里山を活かすこと、国土保全が第一！  
(5区 男性 60歳代 農業)
- ・ふるさと納税の返礼品（農産物）を充実し、PRして欲しい。  
(17区 男性 70歳代 無職・家庭菜園主)
- ・基山に合う野菜・花の研究をして種類を増やして。  
(7区 女性 50歳代 米・野菜農家)
- ・補助金に頼りすぎない農業施策、新規事業。継続性。  
(12区 男性 30歳代 小売業)
- ・生産者を育てるためには販路を捜してあげ、利益が出るように真剣に取り組んでください。やる気のある人を捜せ。  
(3区 男性 60歳代 退職後に農業に専念)
- ・エミュー事業はマスコミでも大きく取り上げられている。町も責任をもって成功させて欲しい。  
(1区 男性 60歳代 農業)



▲JR博多駅前で開催された「博多ファーマーズマーケット」

守るべきか攻めるべきか？  
こだわりを持った生産者が  
基山産をアピール！

家庭菜園は大盛況！  
私達もこだわっています。「安心安全」



## 私達は、こだわりをもって農作物をつくっています。

### まだまだ頑張ります。まだ75歳です。

飛松 茂 克 さん  
2区 (75歳) 主力作物 米・マコモダケ

飛松さんは大興善寺近くで永年農業を営まれており、農事組合法人「ちぎりの里」の代表もされています。

今、一番力を入れて取組まれているマコモダケの話になると「知名度をあげて基山の人に買って頂きたいが、生産者が努力する必要がある。マコモダケは稲作より手間がかからない、仲間を増やしたい。」と熱心に話されます。基山ブランドを目指して！



イノシシを  
何とかしえにゃ！

### 頑張っています。もう36歳です。

牟田 康 次 さん  
6区 (36歳) 主力作物 露地野菜

青年就農給付を受け、福岡県より家族と共に基山に移住されて2年目です。完全無農薬の露地野菜を生産し、自分で販路を開拓されています。一人でも多くの人に食に対する知識を深めて欲しいし、土に触れて欲しいと話される姿には信念の強さを感じます。基山町には農業に興味がある若い世代に対する情報提供とサポートをして欲しいと力を込めて話されていました。



同じポリシーを  
を持った仲間が欲しい！

# 所 管 事 務 調 査

## 総務文教常任委員会

### 議 案 審 議

平成28年度一般会計補正  
予算で継続費補正

**問** 中学校大規模改造事業  
(老朽)の総額2億671  
6万円が全額更正された理由と  
今後の対応は。

**答** 国庫補助の申請で採択さ  
れず交付されなくなり、  
事業ができないと判断し更正を  
行った。平成29年度の交付に向  
け全力を挙げて対応する。

**問** 国庫補助申請から交付内  
示までの手続きについて  
はどうなっているのか。

**答** 平成29年度の国庫補助事  
業の申請については、平  
成28年6月に事業計画書の提出  
を行い、県でとりまとめをし、  
11月に正式に国に申請をする。  
平成29年2月以降事業計画書の  
査定が行われ、4月から5月以  
降に内示が示され交付申請の手  
続きに入る。

**要望** 基山町の最重要課題でも  
ある基山中学校大規模改造(老  
朽)事業を来年度国庫補助の交  
付が受けられ、着工できるように  
、今回の件を教訓として最善  
の策を講じるように要望した。



▲老朽化が進む基山中学校

### コミュニティバス停留所 ベンチ設置工事

**問** ベンチ一基当たり約50万  
円の金額になるが。

**答** 宝くじ助成事業を活用し  
20基設置するもので、設  
置場所を考慮しユニバーサルデ  
ザインタイプのベンチを採用す  
る。また、金額には設置場所の  
基礎工事費用も含んでいる。

**問** 設置場所を決めた経緯  
は。

**答** コミュニティバスの利用  
者の多いところから順次  
決定をした。

### 住まいるプロジェクト事 業の内容は

**問** 移住体験リノベモデル住  
宅業務では、空き家を活  
用して、どのように行うのか。

**答** 大学と連携し学生の設計  
コンペと地元業者による  
改修を行い、移住・定住希望者  
に移住体験を受けてもらう。よ  
り多くの方に移住体験をしても  
らうように、タイプの異なる空  
き家2棟のリノベーション(改  
築)を考えている。

**問** 移住定住促進業務委託の  
中で、広告宣伝費123  
0万円について内容は。

**答** 福岡都市圏で、アクティ  
ブシニアや子育て・若者  
世代に、基山町の魅力を発信し  
ていく広告を様々な媒体を利用  
して行う。

**要望** 地方創生推進交付金が  
「6月補正に事業を計上するこ  
とが申請の前提になる」とのこ  
とで、減額される可能性がある  
と説明を受けたが、全額交付決  
定と事業がより多くの成果を出  
すように、事業内容を詳細に精  
査するよう要望した。

### 所管事務調査

#### 特定空き家の現地調査

倒壊の恐れのある特定空き  
家について、町内で把握され  
ている4件のうち3件を現地  
視察した。今後の状況につい  
ては、空き家の危険度を4段  
階(A・B・C・D)に分類  
し、倒壊の恐れがあり早期に  
撤去する必要がある空き家を  
D判定としているが、客観的  
に判定する知識を得るため研  
修を受け調整していくと説明  
を受けた。また、特定空き家  
の所有者が町に提供・寄付し  
たいとの申し出があった場合  
の有効活用策を検討する。国  
の空き家対策特別措置法の内  
容を精査して、基山町の空き  
家管理条例の見直しをしたい  
との説明もあった。

委員会として、特定空き家  
を解体した場合の費用の算定  
と基山町の現存する空き家89  
件の危険度を示す4段階ごと  
の件数を精査して資料提出す  
るよう要望した。



# 基山町のこれからを考える!!

## 議 案 審 議

### 厚生産業常任委員会

#### 議 案 審 議

#### 企業立地促進にむけて

**問** 今回の企業立地促進に関する条例改正内容は。

**答** 対象業種を製造業のみから運送業、倉庫業など8業種に拡大及び投資要件を緩和し、新たに佐賀県企業立地促進特区の指定要件を満たす奨励措置を追加した。町内に本社を置く既存の中小企業等への設備投資に対する補助金も創設した。

**問** 基山町の住民の優先採用を誘致の条件に入れてもよいのでは。

**答** 立地協定の中できちんとうたっている。

#### 工場緑地率緩和は

**問** 目的は何か。

**答** 土地の有効活用が基山の立地促進に必要である。

**問** 1%から5%に変更になった理由は。

**答** パブリックコメントを含めて町民から頂いた意見を配慮しての結果である。

**問** 地域の実情・住民の意見を充分ふまえてのものか。

**答** ふまえて決定したと考える。

#### 継続審査



▲7区の工業団地

企業立地は今後の基山にとって大切なものだけに、地元の意向、現地環境の調査等が必要であると判断し継続審査とした。

#### 子育て支援の充実へ

**問** 「ようこそ井戸端会議へ」プロジェクト事業の目的は。

**答** 就学前から小学校教育への移行期にはトータルサポートを配置し、教育の連続性のための支援を行う。1年生に入学するまでの子育てを、一貫して支援することを目的としている。

**問** 地方創生交付金を利用している事業である。交付金が不採用の場合は。

**答** 重要な事業なので町単独でも行う。

**問** まず子育て支援センターを設置すべきでは。

**答** 妊婦から出産・子育てまでの相談等をワンストップで対応する体制として子育て世代包括支援センターの設置を検討しているが、今の人員では若干人数不足の問題がある。

#### 頑張る多子家族表彰事業

**問** 頑張る多子家族表彰事業とはどんな事業か。

**答** 18歳以下の子どもが5人以上の世帯を表彰し、その年度で最も子どもが多い世帯に10万円の報償金を贈る制度。公表の承諾が前提条件で報償金は1回のみ。

**修正** 不確定な部分が多い事業であるため、事業費を削減し、予備費に充当する修正案を提出した。

#### 道路新設・改良工事

**問** 白坂久保田2号線及び本桜・城の上線道路改良事業の状況は。

**答** 道路事業費国庫補助金の大幅な減により事業の進捗が遅れる。現在は国庫補助金の獲得へ最大限の努力をしている。

#### 所管事務調査

#### 地域おこし協力隊・集落支援員との意見交換

制度導入から1年を経過した地域おこし協力隊・集落支援員と地域の活性化に向けて意見交換を行った。

町民が楽しめるイベントの企画・モールの商店街の有効活用・基山の観光・農業のあり方・発酵のまち基山の将来への展望等について、熱い想いを話し合った。

今まで、基山にはなかった視点で町の活性化のため活動している方々に対し、町として更なる支援を行っていくように要望した。



▲まちなか公民館で意見交換

# 新規事業等で約2億円追加、国庫補助金等で約3億円減額

## 予算総額 56億7118万円

今回の補正予算が大きな減額となったのは、基山中学校大規模改修工事及び町道改良工事費の国庫補助金が減額されたのが原因である。今後の予算編成のあり方について考えさせられる補正予算の審議であった。

### 主な補正内容

- ・ 歴史的文化財遺産を活用した婚活応援事業 **81万円**

恋人の聖地である大興善寺で婚活イベントやセミナーを開催する。また、婚活支援員による婚活サポートを実施する。

- ・ 新婚世帯家賃補助金 **450万円**

民間賃貸住宅に居住する世帯で、婚姻届け出が1年以内の新婚世帯に、一律1万円の家賃補助を最高12か月交付する。

- ・ 基山中学校普通教室エアコン設置 **3884万円**

1年生教室4クラス、2年生教室4クラスに設置。

- ・ 防犯カメラ設置 **304万円**

町立小・中学校（各5台）、基山保育園（2台）に設置。



▲一定の抑止力が認められる防犯カメラ

- ・ 小学校放課後補修学習 **324万円**

町内2小学校の5～6年生を対象に週1回程度、放課後補修学習を民間業者に委託し実施する。

- ・ 妊・産婦相談 **64万円**

産前・産後の妊婦宅を、助産婦が訪問し子育てなどの様々な相談を受け支援する。

- ・ 2歳児歯科検診 **23万円**

1歳から3歳の間に虫歯になる子が増加しているため、2歳児の時点で検診をしてむし歯予防の意識を高める。

- ・ 英語検定料補助金 **55万円**

検定料の1回分全額支給し、英語力の向上を目指す。中学卒業までに英検3級程度の英語力をもつ生徒の割合50%を目指す。

- ・ 橋梁調査・補修設計業務委託料（基山駅通り線外） **1548万円**

JR鹿児島本線上に架かる橋梁でJR以外の通路分の調査・補修設計。

- ・ 跨線橋（JR鹿児島本線）橋梁補修負担金 **630万円**

JR鹿児島本線上に架かる3橋の鉄道部分。



▲老朽化が進む白坂歩道橋

- ・ 産業振興協議会補助金 **390万円**

昨年からの協議会事業を支援するため基山PAふるさと応援市場運営及びHP更新へ補助する。

# 全議案および賛否表

## 全会一致で可決・承認・同意した議案

議案番号	議案名
議案26	企業立地促進等に関する条例の一部改正について
議案28	町営住宅設置及び管理条例の一部改正について
同意2	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
承認4	専決処分の承認を求めることについて（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例）
承認5	専決処分の承認を求めることについて（税条例の一部を改正する条例）
承認7	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度一般会計補正予算（第8号））
議案29	平成28年度一般会計補正予算（第1号）※下表にある修正案により修正した部分を除いた原案
議案30	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案31	平成28年度下水道事業会計補正予算（第1号）

## 賛否が分かれた議案 ○賛成 ●反対 議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		松石健児	大久保由美子	末次明	柴野久明	久保山義明	牧園綾子	木村照夫	河野保久	重松一徳	大山勝代	品川義則	松石信男
議案27	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	継続審査											
承認6	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●
議案29	平成28年度一般会計補正予算（第1号）の修正案 ※原案より一部を修正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●

### 国民健康保険 特別会計 補正予算

**112万円を追加**

予算総額 23億6556万円

#### 主な補正内容

- ・ 国保事業費納付金等算定標準システム  
データ連携業務委託 **84万円**  
平成30年度からの財政運営の県単位化に向けてのシステム改修

### 下水道 事業会計 補正予算

**収入を2157万円追加**

収入総額 5億3528万円

**支出を2157万円追加**

支出総額 6億1666万円

#### 主な補正内容

- ・ 修繕費 **713万円**  
熊本地震の被害による本桜処理場、きやま台処理場等の監視通報装置設置、入口ドア等修繕



# 一般質問

# 12人が町政を問う

(傍聴者のべ132人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

## 傍聴記



11区 池内 広美(40代)

以前はあまり興味が無かったのですが、今では何度か議会を傍聴させて頂くようになりました。その中でもいつも感じるのは、質問をされる議員の方が沢山勉強をされているなという事です。

また、先を見据え町のあるべき姿を思い描きながらそれを実現するためそれぞれの視点や立場で真剣に論議される様子に、そういうやり方もあるのかと気づかされたり、私が問題だと思っていたことよりもっと別の所に問題があったのだと気づかされたり、とても勉強になりました。

質疑応答の最中傍聴席では、「そうそう」と頷かれたり、「うーん」と首を傾げられる方もあり、折角なら傍聴者の感想を帰りにアンケート等で聞いてみるのも良いのではないかと思いました。

親に勧められ、初めて議会を傍聴させていただきました。せっかくの休日なのでゆっくり寝たいな、と正直思いつつの傍聴でした。

印象的だったのは、議場がイメージしていたより立派だったという事です。議会では、各議員さんの質問に対して、町長さんや、基山町側の各担当職員の方が回答されていました。その様子はテレビで観る国会中継のようでした。

今回傍聴させていただいて、例えば町立図書館の運営についても、このような議会でも話し合っているという事や、基山町は家庭のゴミが多いという問題を抱えているという事を初めて知りました。

今後、基山町がもっと住み良い町になっていくためには、自分も基山町の事に関心を持ち、できる事から参画していく事が必要だと感じました。

議員さん、町長さん、基山町担当職員の方皆さん、お疲れ様でした。これからも基山町の為に頑張ってください。

3区 松石 峻(20代)



## 意見交換会を終えた感想は

### 答 今後への期待を強く感じた

品川 義則 議員



町長地元意見交換を終えた所見を問う。

問 意見交換会で多かった町民の声は何か。

答 今回の主要なテーマであった、子育て支援、定住促進、産業振興等に関するものが多かった。また、熊本地震直後だったので、町の防災に関する意見も数多くあった。

問 町長が心に残った意見は。

答 厳密には町民ではないが、現在福岡に住んでいる若い女性からの故郷（ふるさと）きやまを思う意見に感動した。彼女が戻ってくる環境整備を早くしたいと思った。

問 地域防災計画の見直しは行うのか。

答 今回の地震を踏まえて、防災会議等による関係機関の意見を聴き検討しなければならぬと考える。

問 防災行政無線が聞こえなかった地区はないのか。

答 今回の地震では、佐賀県南部に震度4以上の地震が発生したため、消防庁より町の防災行政無線から地震発生警報が自動で発信された。地区によっては聞こえづらいつの意見があるので、全域の再点検を行う必要がある。

問 自主防災組織の強化が必要ではないか。

答 自主防災組織の活性化や強化を図るとともに、社会福祉協議会と連携し災害ボランティアの養成や活用方法を検討していく。

## 無認可保育園も軽減適用を

### 答 8月に規則改正を行いたい

大山 勝代 議員



平成29年度からの介護保険改定はどうなるか

きると思う。

問 基山町は子育て支援策として認可保育園の保育料が1人目は全額だが、2人目は半額、3人目以降は無料にしている。小規模保育事業A型の「二こころ保育園」も「ちびはる保育園」の0歳2才児が認可されたが、3歳児以上は無認可なので、複数児が適用されない。同じ基山の子なので、適用できないか。

答 8月の保育料算定時に規則の改正を行い、基山町在住の園児に対して軽減策を適用していきたく。

問 これまでの認定申請からサービス利用までとこれからの大きな違いは何か。

答 これまでは申請→調査→主治医の意見→審査→サービス利用の流れとなっている。改定では受付シートと認定申請とに振り分け、利用までの期間が短縮される。

問 振り分けで希望するサービスが受けられなくなるという問題がある。本人の申し出があれば認定申請もできるか。

答 本人の希望が基本になる。

問 チェックリストと認定申請両方受けられるか。

答 サービスの内容にもよるが、可能である。

問 ボランティア団体等の支援体制はどう整備していくのか。

答 6月から協議を始めていく。担当課と社会福祉協議会が連携し、事業内容・体制の強化を図る。



▲うどんづくりをする年長児たち

**問** 葬祭場長寿命化計画の策定は  
答 「メンテナンスで維持」の位置付けで



牧園 綾子 議員

用が可能である。施設の評価結果から、屋根・外壁・内壁については塗り替えや補修が必要と考えている。

**問** 具体的な点検の内容と年間にかかるコストは。  
**答** 法廷点検として、3年に1回の消防署の検査、年2回の消防設備の点検、4年に1回の電気設備の点検を行っている。今年度のコストは消防設備の点検で1万3000円。また、委託業者と職員による施設の日常点検を行っている。必要に応じた施設の補修・修理など約80万円のコストがかかる。

**問** 近隣市町との一部事務組合として運営の考えはないのか。  
**答** 以前より検討はしている。鳥栖市は、単独運営を基本とされ、小郡市大刀洗町の共有施設は稼働後23年で、中途での一部事務組合化は難しいとの考えである。

**町内の保育園の現状は**

**問** 保育園の待機児童ゼロの達成にむけての取組と成果は。  
**答** 最近5年間で0歳児から5歳児の人口が微増し、3歳未満児の入所割合が上がっている。保育士の確保、各園の利用調整に取組み、待機ゼロを達成し続けたい。

**問** 葬祭場の総合所見は竣工から30年以上で劣化が進行しているところ。この状態からどう管理していくのか。  
**答** 鉄筋コンクリート造りの場合、耐用年数50年といわれ、メンテナンス次第で50年を超えても使

**問** 全国的に保育士不足が深刻化している。問題や提案などが保育所運営委員会であがっているか。  
**答** クラス編成の際に、正規と臨時職員の組み合わせ等クラス運営に支障がでないよう対処することや、配慮が必要な園児に対する加配に努力することなど。

**問** 基山保育園は施設の老朽化から大規模改修または、建替案について早急に検討するとある。検討のポイントはどこに。  
**答** 大規模改修による長寿命化は限界がある。3歳未満児の需要に対応する施設整備に建替が必要であり、公立保育所として総合的に検討する。



▲泥んこ遊びに夢中の園児達

**問** まちづくり基金事業の見直しは  
答 来年度に向け検討する



重松 一徳 議員

れている。それに対する支援はされているのか。  
**答** 金銭等の具体的な支援はしていない。

**問** まちづくり基金事業で、補助期間3年を過ぎても継続や中止された事業はないか。  
**答** 平成20年度から27年度までの間、15団体が実施され、活動継続は13団体。新たな活動や自治会活動で2団体になる。

**問** 活動内容によっては補助金交付期間を延長できないか。  
**答** 3年間の補助金交付期間、交付金額についても検討したい。

**問** 町長との意見交換会の中で、まちづくり基金事業への要望は何か出されたか。  
**答** 申請書の書き方や報告書の作成の仕方等について要望があった。これらについてはサポートしていきたい。

**問** まちづくり基金条例や実施要綱・補助金交付要綱などまちづくり基金事業全体の見直しは。  
**答** 積極的に取組み、来年度に向けて見直しを検討したい。



▲まちづくり基金事業の報告会

町道白坂久保田2号線の延伸完了はいったい

**問** 白坂久保田2号線の工事工程は。  
**答** 8月から工事に着手していく。完成は平成31年度を想定している。

**問** 平成28年度に完成すると聞いていたが。  
**答** 国の補助が大幅に削減され、本体工事が29年度か30年度までかかる。その後、緑化工事も行い、最終完成年度を31年度に想定している。

**問** 7月に説明会を開催するとなっているが、どのような内容か。  
**答** 事業内容と安全対策について、けやき台周辺及び土地関係者に行う。

**問** 説明会は現地具体的に、町民全体を対象に開催してほしい。平成21年度から紆余曲折を経て建設の段階まで来ている。町道を延伸した場合の利便性や町有地の有効活用についても説明してもらいたい。  
**答** 詳細については検討したい。

**問** 説明会は現地具体的に、町民全体を対象に開催してほしい。平成21年度から紆余曲折を経て建設の段階まで来ている。町道を延伸した場合の利便性や町有地の有効活用についても説明してもらいたい。  
**答** 詳細については検討したい。



## 問 ごみ減量化検討協議会の設置を 答 会の設置を検討する

河野 保久 議員



**問** 現状のごみの収集方法に至るまでの経緯は。

**答** 昭和53年から可燃物・不燃物の2分別にて有料化による収集開始。昭和59年から宝満環境センターにて処理、平成6年から新聞等の資源ごみ収集、平成20年からクリンヒル宝満にて処理を開始した。現在15種類の分別収集を行っている。

**問** 現状のごみ収集に対する所感は。

**答** 細かな分別をせず収集し、処理場にて細かに分別を行っている。高齢者にとってはある意味、手間のかからない収集システムとなっている。

**問** 問題点等は。

**答** 資源化できるごみが可燃物ごみの中に多くみられる。出し方の啓蒙を図ることが重要と考える。

**問** 水俣市のごみ減量化への取組に対しての所感

**答** 住民協働により、環境にいい暮らしづくりを取組んでいると思う。

**問** ごみの減量化にむけての施策は。

**答** 可燃ごみから紙・ペットボトルを分別して資源ごみ化を推進し、併せて生ごみの水きりの啓蒙を図っていく。事業所へごみの出し方をお願いをダイレクトメールで送付し協力を仰いだ。施設見学会も継続して行う。

**問** 行政・ごみ収集業者・町民が一体となって

ごみ減量を考える「ごみ減量化検討協議会」の設置は検討・実施できないか。

**答** 住民協働により、ごみの減量に取組むことは必要であり、会の設置を検討する。



▲けやき台のごみ集積場

**副町長に問う**

**問** 就任後2カ月が経過しての現在の所感

**答** 職責の重さを実感している。

**問** 町長と職員とのパイプ役も重要な職務と考えるが。

**答** そのように感じており、常々意識して職務にあたっている。

**問** 思い描く基山町の将来は。

**答** 「アイ」が大きい基山町、住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山の実現を目指す。

## 問 子ども医療費窓口無料化を 答 小学生来年度から実施する

松石 信男 議員



**問** 松田町長の公約「基山町の歴史と自然を守りつつ、人口増に挑戦する」とした「七つの誓い」による今年度実施予定の事業は何があるのか。

**答** 子育て支援策として、英検受験費用の補助や小学校放課後補充学習事業、基山中学校エアコン設置、保育園・小中学校への防犯カメラ設置、婚活サポート事業。定住

促進策として、子育て・若者世帯の住宅取得補助や新婚世帯家賃補助。さらに、「ようこそ井戸端会議へ」プロジェクト事業、ピカピカの1年生プロジェクト事業、移住定住促進事業、移住体験事業を実施する予定。

**問** 子どもの医療費の現物支給(窓口無料化)と高校生入院までの医療費助成拡大一や「就学援助の新入学児童生徒学用品費の早期支給と援助の拡大」は今後どうするのか。

**答** 子どもの医療費の現物支給は来年度から実施。高校生の入院までの助成は前向きに検討する。去年は7月だった就学援助の新入学児童生徒

の学用品費支給は、今年は5月末にしたが、来年は1日でも早く行う。自衛官適齢者名簿提出について

**問** 基山町は自衛隊佐賀地方本部の依頼に応じて、18歳(高校卒)になった人の名簿を作成し提供しているが、個人情報保護上問題がある。今年度はどう対応するのか。

**答** 本年度は「閲覧」による対応をお願いする。

**中学生が自衛隊へ職場体験**

**問** 中学生が職場体験学習として事業所を訪問し、仕事を体験することは大切だが、昨年基山中学校の7人が自衛隊に行っているが疑問だ。職場体験事業所はどのように選択しているのか。

**答** 保護者に紹介をいただいて、子どもに向くか向かないか選択して学校からお願ひに行っている。

### ▼医療費 高校卒業まで助成

	入院	通院
鳥栖市	○	
みやき町	○	○
上峰町	○	○
大町町	○	○
太良町	○	○
多久市	○	○
嬉野市	○	○

## 問 県内でのごみ排出量順位は

答 佐賀市、鳥栖市に次いで3番目に多い



松石 健児 議員

問 近年の町内における一般廃棄物(ごみ)の排出量(町民1人・1日当たり)の削減目標値と実績は。

答 平成24年を基準年として、平成35年までの11年間で1人当たり、1社当たり各々10%の削減目標を上げています。目標値は毎年度達成している。平成26年度の日標値1004gに対して実績は986g。県内で3番目に多い値で、筑紫野市、小郡市と比較しても1000gも多い。

問 両市と比較して1000g多いというところは、月当たり51トン(1000g×30日×人口17000人)も多い排出量ということになる。要因は分かるか。

答 小郡市は農家も多く

生ごみ等を家庭内で処理している可能性がある。筑紫野市は詳しくは分からない。基山町は一部、事業所系ごみが家庭用と混ざって処理されている可能性がある。

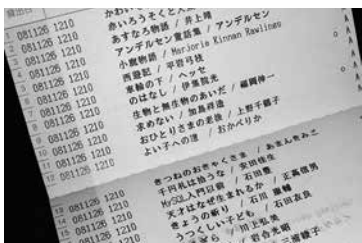
問 ごみ削減に向けて対策は考えているか。

答 今後、指定ごみ袋の料金の見直しや、事業用ごみ袋を導入して家庭用ごみと区分できるように対策を検討するとともに、ごみ削減の啓発に努めたい。

新図書館の状況は

問 新図書館の図書貸出利用者数と貸出冊数は。

答 図書貸出利用者数は、4/5月で9882人(昨年比240%増)。図書貸出冊数は、4/5月で44443冊(昨年比225%増)。来館者数は、4月が10794人、5月が8254人。



▲貸出履歴を印字した読書通帳

問 新利用者サービスに独自の工夫を行っているか。

答 利用者に必要な資料や情報を提供し、問題解決をお手伝いするレファレンスサービス、未所蔵の本を近隣の図書館間の相互貸借により揃えるリクエストサービスや貸出の迅速化を図るためICタグ化による図書管理、蔵書検索機の設置やCD・DVDの貸し出しを行っている。

問 銀行の通帳と同様に貸出履歴を印字できる「読書通帳」がある。利用者拡大の手段として実績のあるものだが、導入は検討できないか。

答 図書貸し出しカード新規発行も好調であり、近隣の町からの利用者もある。まだ利用したことがない町民の掘り起こしを考えたい。

## 問 町長の考える総活躍のまちとは

答 町民みんなで町の活性化に貢献



末次 明 議員

問 町長の考える総活躍のまちとはどのようなイメージを想定してあるか。また、基山を離れた人と繋がるツールは何かあるか。

答 子どもや若者世代には自分の夢に向かって進んで欲しい。基山町での思い出を醸成し、町を離れても町に戻る動機づけとしてもらいたい。町のホームページやフェイスブックも充実させていく。

問 総活躍で手答えを感じている事、そして、課題は。

答 まちづくり基金事業・サロン事業は総活躍のベースになる事業だ。各種活動が開花するためには、タイミングの良いきっかけづくりやマッチングが必要であり、行政の役割と思っている。

問 町長が望む理想的な基山町職員像とはどのような職員か。人事評価制度は正しく機能しているか。

答 明るさと、あきらめない熱い心を望む。また、町民の信頼があつてこそその役場職員だ。管理職には部下に対して背中を見せて欲しい。人事評価制度は今後本格実施される。公平評価、適材適所で対応し、相互理解出来る制度にしていく。

「まちづくりは人づくり」松田町長の誠実な行動力に期待するところ!

問 基山町の職員採用形態は任期付き臨時職員も多い、今後この形態は継続するの

か。答 定住促進、産業振興、地方創生など多くの課題、施策に取組んでいる。弾力的で迅速な採用、有用な人



▲まちの活性化に子どもたちの活躍を

材確保と人員配置が可能な各種の任用形態を状況に合わせて実施している。

問 総活躍のまちとしてボランティア(町職員に変わる活躍)の育成に基山町としての様に取組んでいるか。ボランティアは財政に負担をかけるまいまちづくりに必須では。

答 基山町では既にボランティアに大いに活動して頂いている。今後も維持、拡充させることにより参加者を増加させるよう努力する。

問 比較的制約を受けないボランティア活動は可能か。

答 事業によっては比較的短時間で終了するものもあり可能。



**問** 校内で事故が発生、最も重要なことは  
**答** 子どもの安全確保と生命維持

大久保由美子 議員



新教育委員会制度の完全移行の考えは。

**問** 新教育委員会制度とは。

**答** 教育委員長と教育長を一本化して、新教育長を置き任期は3年。首長は総合教育会議を設置、招集。また、教育大綱の策定をする。

**問** 新制度への、完全移行の考えはあるのか。

**答** 現教育委員長の任期に伴い、平成28年第3回定例会に上程したい。

**問** 総合教育会議は首長、教育委員会が、教育について協議する場、町長はどう捉えているのか。

**答** 教育政策についてしっかりと協議し、方向性を定める事が重要と考える。

**問** 転入者にアンケート

**問** 基山町に転入して1年未満の転入者にアンケートされた目的は。

**答** 今後のまちづくりに、転入者の意見を聞き、定住促進、住宅環境、保育子育て支援、医療福祉など施策の参考資料としたい。

**問** 災害対策が充実していないと思う方が多い結果をどう捉えるか。

**答** 1月の大雪被害後の調査による要因が考えられる。防災・減災対策にもしっかりと取組む。

**問** 就労環境が整っていないと思う方が多い結果をどう捉えるか。

**答** 回答者は30、40代が多く、配偶者の働くための相談窓口、就職支援への対策が重要と考えられる。

**問** 今後どう活かすのか。

**答** セミナーや子どもの医療費の現物支給への協議、住宅取得補助金、新婚世帯家賃補助など取組む。



▲安全対策で剪定された植込

**問** 土砂災害・洪水から身体を守るには  
**答** 土砂災害を防ぐ砂防ダム建設

木村 照夫 議員



**問** 土砂災害を防ぐ砂防ダム建設の進捗状況は。

**答** 園部別所地区が県事業による砂防事業計画がある。進捗状況は本年度に詳細な測量及び調査が予定されており、その後地元及び関係者皆様への説明会が計画されている。

**問** 実松川、秋光川が氾濫した場合、浸水想定区域の戸数は。

**答** 住宅棟数はおおむね実松川沿いが5棟、秋光川沿いが154棟となっている。

**問** 河川砂防かさ上げ工事について。

**答** 県事業により園部字田原地区で秋光川護岸の局部改築工事が計画されている。この事業は、平成29年度末までに一部区域の護岸を整備する計画である。

**問** 福祉避難所の施設は

**答** 基山町保健センター及び基山町老人憩の家の2箇所を指定している。

**問** 公共上下水道事業の取組について

**問** 公共上下水道の使用可能な地域は。

**答** 本管が布設されていない黒目牛・小松地区・小松地区より西側の地区、及び丸林地区。また本管が布設されている地域でも、水圧不足により小林、皮籠石地区、鎌浦、正応寺などで、給水が困難となっている。

**問** 今後の対応は。

**答** 佐賀東部水道企業団の見解では、各地域でまとまった上水道利用の要望があれば整備の検討を行うということで、基山町としては地域のニーズを確認し同企業団と調整していく。



▲土砂災害を防ぐ砂防ダム

## 問 旧役場跡地の活用方法は

答 若年層向け賃貸住宅を検討

久保山義明 議員



**問** 旧役場跡地の利活用方法の検討は、いつまでの期限で取組むか。

**答** 今年度中には、方向性を示したいと考える。

**問** みやき町と久留米市では同じ地域優良賃貸住宅でも意味合いが違う。中心市街地活性化基本計画とは切り離して考えるのか。

**答** 現在のところ、みやき町のようなイメージで考えている。民業圧迫とならないよう慎重に検討する。

**問** 駅南側の商業地域は基山町の歴史を支えてきた重要な空間であり「残しながら、蘇らせ、活かしていく」ことを念頭に、

地域住民の意向調査も含め早急に対処願いたい。

**答** 今までやってこなかったが、地域住民の意向調査はするべきだと考える。

**問** 基山の歴史や文化の学習時間の確保を

**問** 今議会では、多くの英語教育予算が追加されている。グローバルな人材を育てる意味ならば地域や日本の文化や歴史を学ぶ機会を。

**答** そのとおりだと思います。系統立てての学習の機会が少ない。社会等の授業で副読本を活用しているが総合学習の時間等を考えてみたい。

**問** 児童生徒によるガイド養成講座や基山検定の実施等を検討してはどうか。

**答** 面白い試みだと思

う。学校でやるのか、ボランティアでやるのかも含め考える。

子どもたちの地域間交流を

**問** 以前、対馬市との間で子どもたちの交流があったと聞いている。基山の子どもたちが全国に「ただいま」といえる場所をつくる検討を。

**答** 大切なことだと思う。問題は財源、実施主体、そして支える大人たちの存在だ。今年度から創作劇を新たにスタートさせる上でも、これを機に考えていきたい。



▲早急な利活用が望まれる旧役場跡地

## 問 団地の世代交代に町の支援策は

答 様々なケースを検討し支援策に取組む

栗野 久明 議員



**問** 進む団地の世代交代に町はどのような支援策を考えているか。

**答** 住み替えを希望の方、住み続ける方、空き家となった家屋等に、住み替え先の確保や生活支援、空き家対策の支援策に取組む。

**問** サービス付き高齢者向け住宅建設を具体化していく場合は、事前の説明会が必要と思うが見解は。

**答** 施設の内容等十分に理解が得られるよう、説明会は必要だろうと考えている。

**問** サービス付き高齢者向け住宅は誘致の方向で進むのか、また、場所はどこに。

**答** 町は主体者の支援をしていく。場所については出来るだけ便利がいいところを想定している。

**問** サービス付き高齢者向け住宅に住み替えを検討したいと回答された方の中には金銭面を心配されているが、どのように考えるか。

**答** 移住・住みかえ機構の活用や金融機関との連携、役場の相談窓口の体制を整えるなど検討中である。

**問** 今後、高齢化し買物等が難しくなる方への取組はどうか。

**答** 基山町では店舗・社協・けやき台朝市など今でも様々な支援活

動を行っている。またそれ以外でも、宅配サービスの検討をしており、みなさんの知恵を出し合い、高齢者の方に寄り添っていく取組が大事だと考える。

**問** コミュニティバスの利便性を考え目的地として多かつた役場への直行便は検討できないか。

**答** 実現に向けて、いろいろな面での検討は行っていく。

**問** 今回の調査が「けやき台団地」内の住居世帯に限定されていたが、他の団地でも町の施策を考える場合必要ではなかったのか。

**答** 今年度より、他の住宅団地においても、順次、調査を実施していく。



▲世代交代が進む「けやき台」



# 鳥栖市・小郡市・基山町 議会議員合同研修会開催

6月23日、各市町の議長始め、議員、職員、総勢約50人が参加した。

「九州ブランディング拠点創生特区」(県境を越えて交通結節機能を最大化。すべては九州のために)と題して、鳥栖市副市長(6月末退任)の安東高徳氏に講演いただいた。国家戦略特区(地方創生特区)の2市1町での共同提案及びその後の経過について、わかりやすい報告と解説であった。

九州全体の農業発展を図る方策として高速道路鳥栖ジャンクション地域に農産品の集積・加工・流通を行う企業を誘致し、規格外の農作物の加工による有効活用も含め、九州ブランドの確立を目指す。そして、この立地を活かし日本・海外への食糧供給基地として取り組んでいくという計画である。

この計画が実現できれば基山町及び周辺市町だけでなく、九州全域の農工業の活性化・雇用促進・定住にも繋がるという計画であるものの、農地転用をはじめとした課題も多く、一つずつクリアしていくことが必要であるとあらためて感じた。



## 議長交際費執行状況表 (平成28年度4月～6月)

支出種別	支出金額 (円)	支出の相手方及び行事名等	
御 祝	5,000	4/15 大興善寺つつじ園開園式	
御 祝	4,294	5/26 モール商店街協同組合第35回通常総会	
合計件数 (件)	合計額 (円)	累計件数 (件)	累計額 (円)
2	9,294	2	9,294

## 平成28年 第3回基山町議会定例会会期日程(案)

月	日	曜	議事内容	備 考
9	2	金	本会議	会期決定・提案理由説明等・決算特別委員会設置
	3	土	休会	
	4	日	休会	
	5	月	本会議	一般質問
	6	火	本会議	一般質問
	7	水	本会議	一般質問・議案審議・委員会付託
	8	木	委員会	常任委員会
	9	金	委員会	常任委員会 (調整)
	10	土	休会	
	11	日	休会	
	12	月	本会議 委員会	委員長報告・討論採決 決算特別委員会 (本会議終了後)
	13	火	委員会	決算特別委員会
	14	水	委員会	決算特別委員会
	15	木	委員会	決算特別委員会 (調整)
	16	金	本会議	委員長報告・討論採決

### 前号の訂正とお詫び

前号 (No.57) 6ページ議案審議の記事内及び写真説明文に誤りがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。  
(誤) 歴史民族資料館 (正) 歴史民俗資料館

# 質問力を高め、議会力に活かす。

平成28年度 第1回 三養基郡内全議員研修

その質問は、まちをよくするために、問いただしているか。

議会議員にとって一般質問とは義務ではないが、大切な権利である。だからこそ、質問力を高めることが求められる。

平成28年7月4日に今年度第1回目の、みやき町、上峰町、基山町の全議員研修が、各町職員を含め62人の参加者で開催された。

講師は、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏。小気味よく、今まで調査研究された全国地方議会的一般質問のあり方を参考に、「残念な一般質問」とはどういうものかをはじめ、一般質問がもつ機能について詳細に説明いただいた。例えば、一般質問には二



つの機能があり、自治体運営や事業の執行についてチェックする監査質問。政策について、効果の検証や手法の評価、提案、政策課題を提起する政策提案質問がある。

その現状と課題についてなど、論点を具体化し、情報を収集する大切さ、つまり、なにが問題なのかが明確で、その論点提起に「納得」させられるかが必要であるとの説明を受けた。

講話終了後は、多くの質問が投げかけられ、一つひとつ丁寧に解説を頂きながらの質疑応答となった。今回の研修は、基山町議

会の議場を使用した画期的な議場開放方式がとられ、新たな研修のあり方も確認がなされた。

基山町議会は、町民の皆さまの関心の高さと傍聴者の多さが特徴的であると同時に全国的に稀な「全議員が一般質問」に臨んでいる。今回の研修を受け、「まちをよくする」ために「問いただし」ているのかを再確認しながら、今後も一般質問に全議員が臨んでいくことが望まれる。

義務ではなく、与えられた権利を最大限活かすために。



## 編集後記

基山のうまかもん

田植え真っ盛りの中、「基山産の農産物」を見直そうという観点で基山町の隅々までまわった。

山間部はイノシシ被害や竹林浸食、そして放棄された田畑が目につく。平たん部でも住宅周辺に「草ばはやすなら畑でも作ったらどぎやんですか。」と思わず口に出るところがある。そんな中でもしっかりと基山の名産、そして生産者「ごたわり」の農作物が目立つことなく作られている。

ふだん何気なく口にしている食べ物に感謝するとともに、そんなに広くない基山町であるが、まだまだ農業を受け入れる場所があることを再認識した。

あとは作ってくれる人、作る作物をどのようにして見つけ出し、売り出すかである。(末次)



## 広報広聴常任委員会

委員長

久保山義明

委員

牧園 綾子

副委員長

松石 健児

委員

末次 明

委員

河野 保久

委員

大久保由美子